



みんなで励まし合った金華山登山

金華山に登ることを楽しみにしていた子供たちは、「あと〇〇日で遠足だね！」と毎日数えていました。たいよう組になったら金華山に登れることが憧れの一つでもありました。「途中でやめることはできないんだよ。自分の力で登るんだからね。」子供たちに話すと、「がんばる！」「大丈夫。」「登れるよ！」前向きな言葉が返ってきました。なんとも頼もしい！また、“みんなで元気に登りきることが大切なこと”を伝えました。自分一人が登ればいいのではなく、みんなで励まし合ったり、力を出し合ったりして登っていきたく思ったからです。子供たちの頑張る姿勢、友達を思いやる気持ち、やりきった満足感など、いろいろな気持ちをもって無事にみんなで登頂することができました。近年入れていなかった岐阜城にも入ることができたことで、より登りきった満足感を味わえることができました。今度はぜひご家族で登ってみてください！！



「やっほ〜！」後方の子供たちとも声をかけ合いながら登りました。



最後の崖！これを登ったら、頂上だ！！



途中にはこんなにビュースポットも！園長先生に抱っこをしてもらおうとよく見えますね。



おうちの人の弁当で元気が湧いてきました！ありがとう😊

はたして金華山から幼稚園は見えるのか！？

園庭にある三角屋根の家から金華山(岐阜城)が見えます。「あそこに登るんだね！」と話していました。「金華山から幼稚園って見えるのかな？」子供たちに尋ねてみると、「見えるよ！」「見えないって！」と意見が対立しました。「あんなに遠いんだから見えないって。」「だって、こっち(幼稚園)から見えるんだから、あっち(金華山)からも見えるって。」それぞれに主張する理由がありました。「じゃあ、金華山の上から幼稚園を探してみようか？」と提案してみました。子供たちは、「いいよ！」とキラキラと目を輝かせました。頂上での楽しみが一つできました。さあ、頂上で幼稚園がある方角に向かって、銀色の厚紙を揺らしてみました。幼稚園の屋上では、事務の先生が同じように銀色の厚紙を揺らしてくださいました。「みんな、わかる？ぼこっとした山の横でキラキラしているでしょ？」よく見てみると、時々キラキラと光るものが見えました。「本当だ！見えた！」「えーどこどこ？」「ほら、あそこだって！」見えた子と見えない子と見えた子が、確かに金華山の頂上までキラキラが届きました。ということは、金華山から幼稚園は見えるということです。「下からはよく見えるのに、なんで上からは見えない(見えにくい)んだろうね。」「高いところは目立つんだよ。」子供たちの疑問は膨らむばかり。幼稚園と金華山がつながった喜びをみんなで味わうことができました！

ここに先生が立っています！幼稚園からは、キラキラ光る岐阜城がよく見えたそうですよ☆



「おーい！ここにいるよ！見える？」みんなで声を出してみました。岐阜城からも幼稚園が見えるんだね！嬉しいね😊

